

令和
8
年度

茅ヶ崎市

高齢者肺炎球菌感染症 定期予防接種説明書

肺炎球菌感染症とは

肺炎球菌感染症は、肺炎球菌という細菌によって主に気道の分泌物に含まれ、咳やくしゃみなどを通じて飛沫感染します。これらの菌が増殖し、下気道や血流の中へ侵入することで気管支炎、肺炎、敗血症などの重い合併症を起こすことがあります。成人が日常でかかる肺炎の原因として一番多いのが肺炎球菌とされています。

対象者

接種日現在、茅ヶ崎市に住民登録があり、次のいずれかに該当する方

- ・ 65歳の方
- ・ 60歳以上65歳未満で心臓、腎臓、呼吸器、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障がいがある方（身体障害者手帳1級相当）

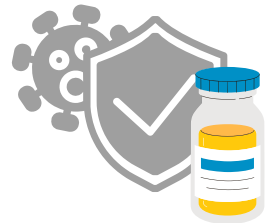
令和8年度接種期間

令和8年4月1日（水）から令和9年3月31日（水）まで

接種回数と費用

接種回数：定期接種として公費の補助が受けられるのは「1回」です。

接種費用：4,000円 ※対象者のうち、生活保護世帯の方は費用が免除になります。



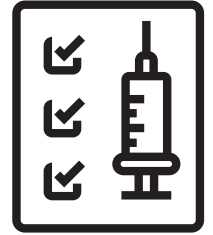
肺炎球菌ワクチンの効果

- 肺炎球菌には、100種類以上の血清型があり、定期接種で使用される沈降20価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV20）は、そのうち20種類の血清型を対象としたワクチンです。
- この20種類の血清型は、成人侵襲性肺炎球菌感染症(※)の原因の約5～6割を占めるという研究結果があります。
- 沈降20価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV20）は、血清型に依らない侵襲性肺炎球菌感染症全体の3～4割程度を予防する効果があるという研究結果があります。

※侵襲性感染症とは、本来は菌が存在しない血液、髄液、関節液などから菌が検出される感染症のことをいいます。

接種を受けることができない方

- 体温が37.5℃以上の方
- 重篤な急性疾患にかかっている方
- ワクチンの成分に対し、アナフィラキシーなど重度の既往歴のある方
- その他、医師に不適當な状態と判断された方



予防接種の副反応について

- このワクチンの接種後に、副反応が生じることがあります。
- 主な副反応には、接種部位の症状（痛み、赤み、腫れなど）、筋肉痛、だるさ、発熱、頭痛などがあります。
- また、頻度は不明ですが、ショック・アナフィラキシー、痙攣（熱性痙攣含む）、血小板減少性紫斑病がみられることがあります。
- 接種後に気になる症状を認めた場合は、接種した医療機関へご相談ください。

その他の注意事項

- 予防接種を受けることは義務ではなく、ご本人が接種を希望する場合のみに行うものです。
- 予防接種について分からないことがある場合には、予防接種を受ける前に医師や看護師に質問し、納得した上で接種を受けましょう。
- 医師の診察の結果によっては、予防接種が受けられない場合があります。
- 接種を受ける本人が署名できない場合、代理人（家族）が被接種者署名、代筆者氏名及び続柄の3か所を記入してください。
- 接種後30分は急な副反応が現れることがあるので、医師とすぐに連絡が取れるようにしましょう。
- 予防接種を受けた日の入浴は差し支えありませんが、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。
- 異常があった場合は、早目に医師の診断を受けてください。
- 本剤の接種により健康被害が発生した場合は、国により**予防接種健康被害救済制度**が設けられています。